

## 一般質問：歩道路面の新設・改修工事材料について 223.12.04

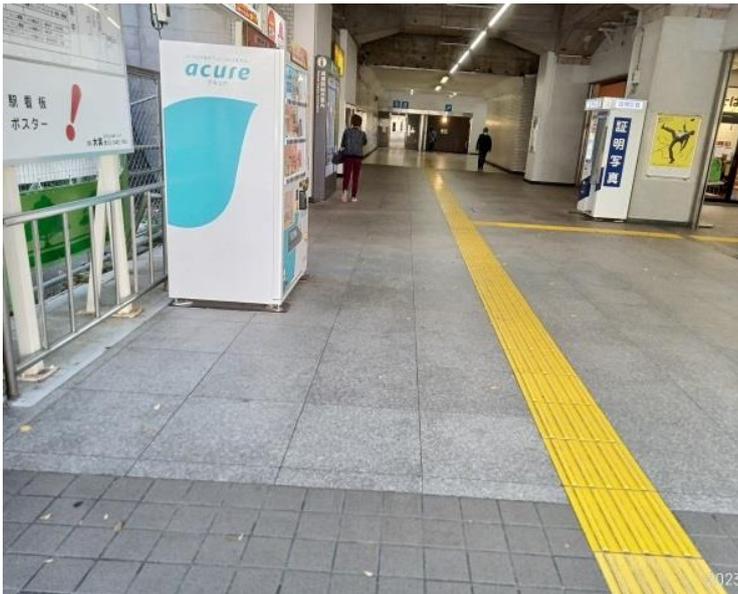
町田市議会議員 無所属会派 吉田つとむ

第4定例会の一般質問において、「歩道路面の新設・改修工事材料について」を取り上げましたが、これは、事前にブログでテーマを掲載したもので、前の記事と被らない点のみを掲載したいと思います。



質問では、具体的な新設、改修場所を挙げて、質問しました。

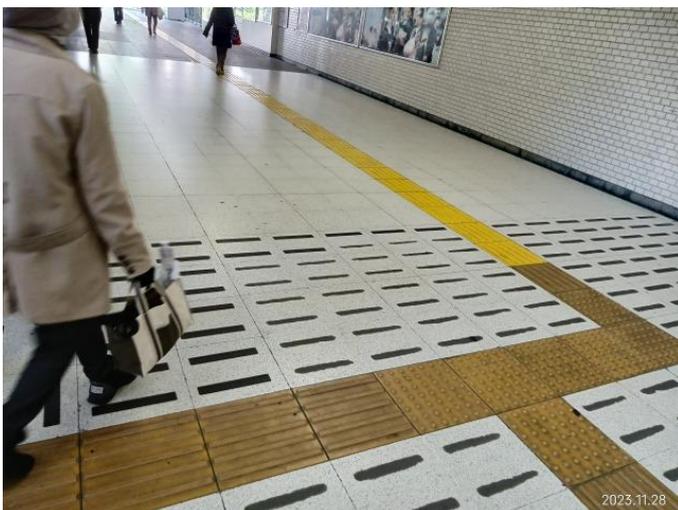
具体的には、南町田駅北口ロータリーの歩道がアスファルト舗装されたものを、さらに時間をおいて表面に、特殊なカラー加工したものに改修されたものでした。質問の結果、これ北口の一角に交番が設置された時期に合わせて、景観美化のための表面改修が行われたもので、当初から予定されたものであったという説明でした。従来のインターロッキングブロック（レンガ）を敷き並べたものに比べ、大幅なコスト削減と工期の短縮が図れるものです。私が以前の東京ビックサイトの建設材料・施行の展示会で見た、ストリートプリントという名称の材料・施工と同等なものでした。車道ではなく、歩道ということでの耐久力の範囲を想定しているものでした。



ついで、成瀬駅では、成瀬駅の自由通路の改修を取り上げました。昭和 54 年のその請願駅開通時に全面がタイル舗装された模様（私は、その工事の完成後に町田市に移転してきた）その後、要望に沿って（実は、私が当時の市長に、成瀬駅の南北の高低差のために、住民の使い勝手が極端に異なることの解消を求めたものでした）その解決策として、南口エレベーター・エスカレーターの新設されたものでした。同時にその周囲に滑りにくいタイルが設置されたものでした。

さらに、次期不明（記憶が定かでない時期）に南口階段下の部分が滑り止め加工)、その後、北口側が滑り防止のために、駅構内と同じ材質のタイルに変更され、その通路の大半が、それぞれの形状に改良されているもので、JR 側で改修されました。

ということで、成瀬駅の自由通路については、路面がタイル加工されていますが、それぞれが施行時期、改修時期、改修施工者の違いによって、場所場所で異なった様相を示しています。



次いで、「町田駅ターミナル口の改修」については、その通路が滑りやすい路面となっていたが、以前から南多摩議長会要望に沿った形で改修を要望していました。ターミナル口の

駅ビルのミーナの改修とともに通路の路面も改修され、新しいタイルは見た目とは違って、滑りにくいタイプのようなものである、施行者によって、どのようなタイプに改良されているのか。町田市が把握している範囲で尋ねました。

新しいタイプのタイルに変更され、滑りにくい材料に変更改修されていることがわかりました。